

戦略1 ともにつくる協働のまちづくり

計画期間 平成26年度～平成30年度

主管部局 生活環境部 関係部局 企画政策部、教育部

めざす姿

- 市民や各種団体など多様な団体が、魅力ある協働のまちづくりに取り組んでいます。
- 大学や大学生と連携した、江別市ならではのまちづくりが進んでいます。

戦略を構成するプロジェクト事業費の推移

名 称	実績						予算額			
	H26年度		H27年度		H28年度		H29年度		H30年度	
1 A 多様な主体が協働するまちづくり	5,643	千円	3,751	千円	4,404	千円	4,046	千円	4,038	千円
1 B 大学が活躍するまちづくり	2,920	千円	3,581	千円	8,163	千円	8,086	千円	6,962	千円
計	8,563	千円	7,332	千円	12,567	千円	12,132	千円	11,000	千円

※H29年度以前の額は完了した戦略事業も含む

戦略プロジェクト1 A 多様な主体が協働するまちづくり

【プロジェクトの目標】

市民、自治会、市民活動団体、企業、大学、行政など多様な主体や高齢者をはじめとする様々な世代が、それぞれの得意分野や豊かな経験・知識等を活かし協働するためのネットワークづくり、組織づくりを促進し、協働によるまちづくり・人づくりに取り組むことで、協働の気運をさらに高め、江別市における協働推進の環境を整備します。

◆成果指標1 A-1 協働によるまちづくりが進んでいると思う市民割合（単位：%）

初期値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	目標
23.1	21.7	24.4	23.6			35.0

◆成果指標1 A-2 協働のまちづくりに参加している（したことがある）市民割合（単位：%）

初期値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	目標
38.7	36.8	40.3	38.4			50.0

<30年度の方針>

戦略プロジェクト1 A「多様な主体が協働するまちづくり」では、成果指標1 A-1・1 A-2とも初期値からほぼ横ばい傾向で推移しており、引き続き目標の達成に向け、協働を担う人材や団体の発掘・育成につながる事業を重点的に実施するなど、さらなる協働推進の環境整備を図るため、以下のとおり事業を進めていく。

◆推進プログラム①「協働によるまちづくり」では、市民との協働により作成したリーフレットなどを活用し、市民参加制度の周知を図るとともに自治基本条例の理念や内容、協働意識の一層の啓発を図る。また、小・中学生を対象とした協働を知ってもらうための出前講座事業を引き続き実施することにより、未来の江別を担う子どもたちへさらなる協働意識の啓発を図る。

◆推進プログラム②「協働を担う人づくり」では、自治会役員の担い手となる人材を育成するため、えべつ地域活動運営セミナーを引き続き実施するほか、女性の自治会活動を支援するため、自治会の女性役員同士の意見交換や自治会の女性役員と自治会連絡協議会役員との意見交換を継続して行う。また、協働のまちづくり活動への支援を拡大するほか、協働を担う人材を育成するためのセミナーやワークショップなどを開催する。

◆推進プログラム③「協働に取り組むための組織づくり」では、自治会活動及び市民協働に関するホームページの内容を充実し、市民協働に関する情報発信を強化するとともに市民活動団体による出前講座事業を引き続き実施し、さらなる協働事業の伸展を図る。

◇推進プログラム1A-① 協働によるまちづくり

<課題>

- 自治基本条例の認知度の向上
- 市民参加に関する意識の向上
- 協働に関する意識の向上

<取組の概要>

- ・市民との協働により作成したリーフレット等を活用し、条例の内容を啓発
- ・市民参加制度の周知・公表
- ・小学生・中学生に向けた協働意識の啓発、併せて保護者への波及効果

事務事業	指 標	H28年度	H29年度(予算)	H30年度(予算)	備 考
協働を知ってもらう啓発事業	協働の理解が進んだ学校の割合	— %	— %	90 %	H30から指標を変更
	事業費	1,018 千円	714 千円	710 千円	

◇推進プログラム1A-② 協働を担う人づくり

<課題>

- 高齢者の知恵や経験の世代間継承
- 自治会加入率の向上
- 活動意識の向上
- 自治会役員の担い手となる人材の育成
- 自治会や市民活動団体との協働事業の進展

<取組の概要>

- ・協働を担う人材を育成するためのセミナー等を開催
- ・自治会活動員の開拓（えべつ地域活動運営セミナー・女性意見交換会の開催）
- ・自治会活動の手引きの作成
- ・職員を対象に協働の意識啓発等を目的とした研修を実施
- ・市民活動の担い手を育成するためのセミナー等を開催

事務事業	指 標	H28年度	H29年度(予算)	H30年度(予算)	備 考
市民協働推進事業	市民協働推進事業で実施した協働事業への参加者数	328 人	400 人	500 人	
	市民協働推進事業で実施した協働事業への参加団体数	69 団体	50 団体	50 団体	
	事業費	3,244 千円	3,203 千円	3,245 千円	
自治会活動等支援事業	セミナーが今後の地域活動に役立つと思った人の割合	97 %	80 %	80 %	
	事業費	142 千円	129 千円	83 千円	

◇推進プログラム1A-③ 協働に取り組むための組織づくり

<課題>

- 市民協働に関する情報発信を強化
- 自治会と市民活動団体双方の情報共有

<取組の概要>

- ・自治会活動と市民活動団体の協働事業を推進するため、自治会活動及び市民協働に関するホームページを整備
- ・自治会等を対象とした市民活動団体による出前講座の整備と普及・啓発

事務事業	指 標	H28年度	H29年度(予算)	H30年度(予算)	備 考
市民協働推進事業 【重複】1A-②	市民協働推進事業で実施した協働事業への参加者数	328 人	400 人	500 人	
	市民協働推進事業で実施した協働事業への参加団体数	69 団体	50 団体	50 団体	
	事業費	— 千円	— 千円	— 千円	

【プロジェクトの目標】

江別市の特性として市内に4つの大学があり、これらの大学及び学生が、それぞれの得意分野を活かして、地域課題の解決やまちの活性化のために、様々な分野で活躍するまちづくりを進めます。

◆成果指標1B-1 大学及び学生等との連携事業数（単位：件）

初期値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	目 標
28	32	34	34			35

<30年度の方針>

戦略プロジェクト1B「大学が活躍するまちづくり」では、成果指標1B-1の連携事業数は増加傾向にあるが、目標である35件の達成に向け、今後とも個別事業を着実に進めるほか、大学・商工会議所・市との包括連携協定に基づき、様々な分野での連携を進めていく。

◆推進プログラム①「大学の得意分野を活かした地域の活性化」では、大学教員による出前講座と未来戦略などを題材にした研究に引き続き支援を行う。

◆推進プログラム②「知的資源である大学が持つ力を活かした教育・人材育成の促進」では、「えべつ市民カレッジ」の市民周知方法の効率化を図るとともに、市民参加意欲の向上が図られるための方策を引き続き実施する。

◆推進プログラム③「学生の力を活かしたまちづくり」では、道内自治体や市内関係団体と連携して、市内大学の学生の地域活動などの受入をマッチングすることにより、広域的視点による大学生の地域定着と大学の活性化を促す。

◇推進プログラム1B-① 大学の得意分野を活かした地域の活性化

<課題>

- 大学と地域、企業との連携促進
- 大学連携補助金を利用した研究の有効活用

<取組の概要>

- ・地域と大学との連携を促すため、大学の教員が地域（自治会や企業等）で行う出前講座の実施を支援
- ・研究成果を市政に反映させるため、未来戦略や市政の課題に関する研究に対し助成

事務事業	指 標	H28年度	H29年度(予算)	H30年度(予算)	備 考
大学版出前講座支援事業	出前講座参加者数	248人	100人	100人	
	事業費	40千円	35千円	35千円	
大学連携調査研究助成事業	補助事案件数	5件	5件	5件	
	事業費	2,721千円	3,039千円	2,839千円	

◇推進プログラム1B-② 知的資源である大学が持つ力を活かした教育・人材育成の促進

<課題>

- 地域を創造する人材を育成するための多様な学習機会の提供
- 大学や関係団体との連携による事業内容の充実と周知方法の工夫

<取組の概要>

- ・ふるさと江別塾や大学自主公開講座等を「えべつ市民カレッジ」として総合的に提供
- ・学びの成果を実感でき、市民の参加意欲の向上が図られるための方策を実施
- ・自治会回覧、広報えべつ等による周知

事務事業	指 標	H28年度	H29年度(予算)	H30年度(予算)	備 考
えべつ市民カレッジ（四大学等連携生涯学習講座）事業	えべつ市民カレッジ講座数	120講座	110講座	160講座	
	事業費	1,458千円	1,340千円	201千円	

◇推進プログラム1B-③ 学生の力を活かしたまちづくり

<課題>

- 学生の力を活かしたまちづくりの促進
- 地域のイベントへの学生の参加
- 広域的視点による市内大学生の地域定着

<取組の概要>

- ・学生の力をまちづくりに活かすために、地域活動やまちづくりに資する学生の活動に対する支援、補助等
- ・学生のボランティア活動を支援
- ・市内大学と他自治体や関係団体とが連携し、大学生の知的資源の活用に対して地域、企業等での受入れをマッチング

事務事業	指 標	H28年度	H29年度(予算)	H30年度(予算)	備 考
大学連携学生地域活動支援事業	補助事業本数	6 件	6 件	7 件	H30年度から指標追加
	補助事業申請件数	1 件	1 件	8 件	
	事業費	327 千円	300 千円	425 千円	
学生地域定着自治体連携事業	市内の地域活動に参加した延べ学生数	482 人	500 人	550 人	H30年度から指標追加
	参加者のうち市内へ就業した者の人数	1 人	1 人	1 人	
	事業費	3,617 千円	3,372 千円	3,462 千円	